

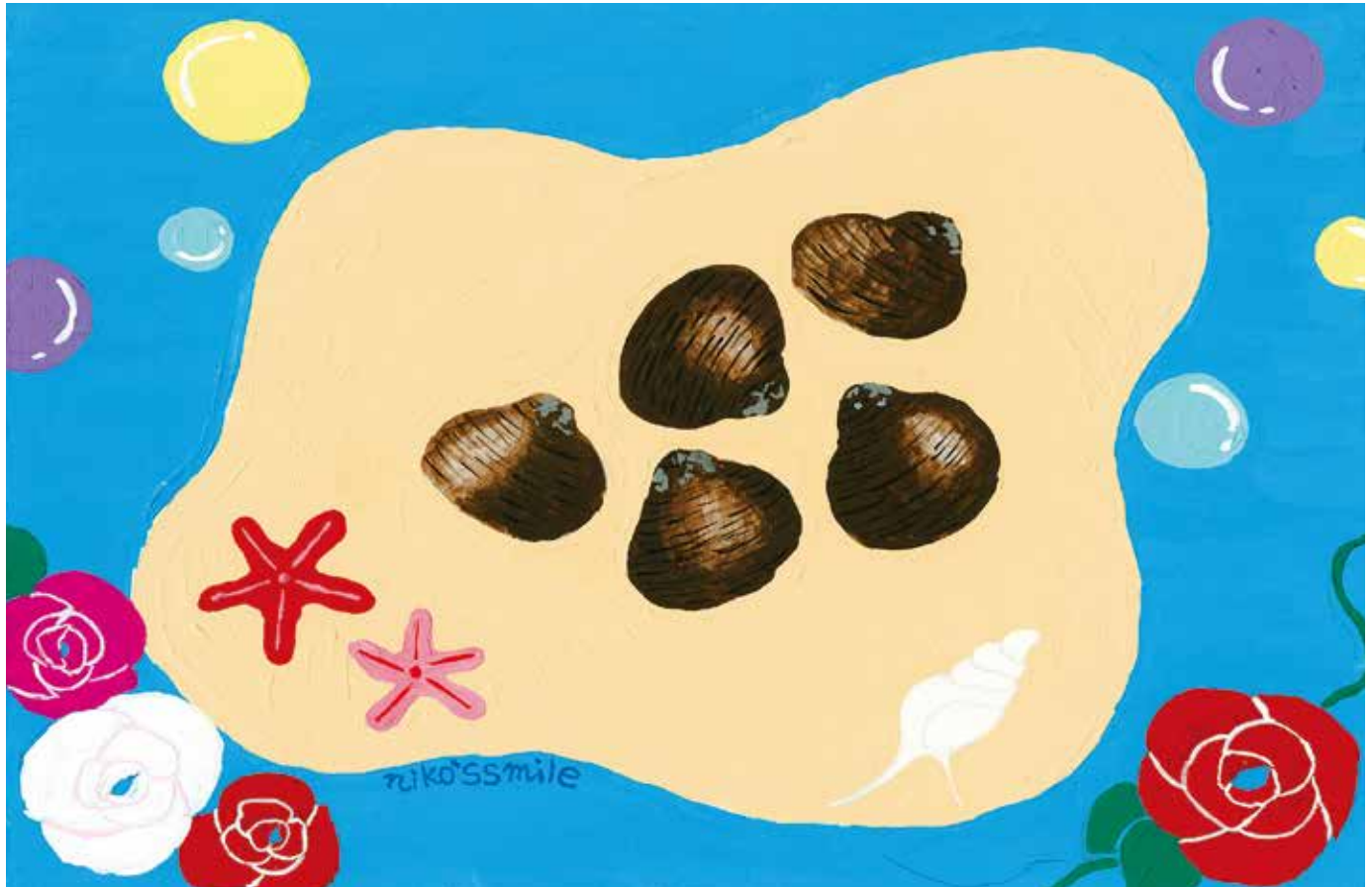
大阪府市場だより

第267号

(平成26年5月25日)

発行

大阪府中央卸売市場協会
茨木市宮島1-1-1
TEL (072) 636-3698
FAX (072) 636-3699



絵:「シジミ」 山口 瞳 (大庄水産)

管理センター報告などを協議

定例常駐代表者会議

府市場の定例常駐代表者会議が5月15日午前10時から管理棟会議室で開催された。山口秀雄議長(府水産物卸協同組合理事長)の挨拶の後、議事が進められた。

先ず、管理センターの宮前統括から別紙(3ページ)のとおり報告があった。

議長から、青果折板屋根工事に関して、「柱、基礎等の強度計算の結果、補強工事が必要となり、当初の予想を超える予算がかかることが判明し、府市場との協議が必要なので、少し保留させていただくことを理解していただきたい。最短8月末になる。また、ゴミ置き場のネットを修理したので、ネットを確実に閉めてもらいたい、閉めていただけないのなら、閉鎖することも含めて考えたい」と述べられた。

東野達雄・青果卸売協同組合理事長から、「屋根工事が8月末になるとのことだが、それ以前に卸会社とよく話し合ってもらいたい。屋根のある中では、パレットが入っていきなりこれを移動すれば荷を中に入られる。スイカの時期までに考えてもらいたい」との発言があった。

次に、木場府次長から市場活性化事業の状況(4・5月)について別紙(2ページ)のとおり報告があった。また、「みんなで考えよう・たばこ」講習会が5月21日に開催されるので、多くの皆さんの参加を要請された。

続いて、三木博司・福利厚生部会長から、ゴルフ大会の日程として9月10日(水・休場日)を考えており、6月初旬には案内させていただく旨報告があった。

議長から「北冷サービスマスターの健全経営のために、開設者である場長や次長が非常に力を発揮いただき協力いただいている。また、開設者が持つておられる修繕費を管理センターに回していただけたら、民間なりの方法で、仕事が安く上がる、早くできるという提案も本庁に説明いただいている。まだ結果は出ていないが、ご尽力いただいている。お礼を申し上げたい。」と述べられた。

山地・場長からは、「管理センターさんに効率よくやっていただけて効果が出ている。このことは、本庁サイドもしっかりと認識している。北冷さんには経営改善に取り組んでいただけるとのことので、ぜひ利用者のニーズをふまえた大胆な取組みをお願いしたい。また、株主でもある事業者の皆さんのさらなる冷蔵庫の活用をお願いしたい。」と述べられた。

異計廣・北冷サービスマスター社長から、「厳しい状況の中で、電気代の値上げで大きなダメージを受けたことが大きい。抜本策がまれば株主の皆さんにお願いし上りたい。」と述べた。

最後に、議長から「株主の皆さんも場内の冷蔵庫をぜひ利用してもらいたい。」と要請され、閉会した。



大阪府内JA組合長や大阪中央会一行

府市場を視察・意見交換

府内JAの組合長10名をはじめ、JA大阪中央会やJA全農大阪、JA共済連大阪、JAバンク大阪信連、農協観光のトップ役員など合計19名の一行が、5月1日に、府市場を視察し、大阪産(もん)の流通状況などについて意見交換した。



一行は、会議室での挨拶の後、青果棟の卸や仲卸スペース、近郷売場、そして市場の食の安全・安心を確保する食品衛生検査所を視察し説明を受けた。

そして、概要説明として「当市場における野菜の取扱量のうち、大阪産(もん)の取扱量は約4千トンで、入荷している全国産地の中で、14番目に入荷量が多く重要な商材として位置づけられる」ことや、「市場活性化の取り組みとして近隣大学との連携をはじめ、高速道路のサービ

スエリアで提供する大阪産(もん)を使ったメニューの開発に関わっている」ことなどが紹介された。



意見交換では、JA組合長からは「市場内がきれいに整理されている」「地域特産の若ごぼうをPRしてくれており、当市場にはこれからも期待している」などの意見があった。当市場の卸売業者である大阪北部中央青果棟の三木博司社長から「ぜひJAには、市

況を見定めることのできる販売担当者の育成を図ってほしい」と要望があった。

府市場では、今後とも、府内JAや当市場の卸売業者等と連携して大阪産(もん)の販売企画等を行い、その取扱量の拡大に努めたいと意気込んでいる。

市場活性化事業

大阪府中央卸売市場では、市場活性化事業の一環として、産地や大学と連携して生鮮食料品の消費拡大、食に関する人材育成や情報発信を行うとともに、府市場の積極的なPRに努めている。

◇JA全農福島が食ビジネス講座を開催！

府市場では、大阪成蹊学園と事業提携をし、4月22日にJA全農福島などの協力により、大阪成蹊大学マネジメント学部食ビジネスコースの学生を対象に「地域特産物」の講座を行った。



同講座では、JA全農福島の三浦氏、福島県大

今回参加した学生らは、今後、福島県産の農産物をより効果的にPRする手法を考え、産地に提案することとしている。府市場では、今後とも大学との事業提携に基づき、産地と連携して生産物の販売企画等を行い、産地の役に立つ方策を提案していく。

◇グランフロント大阪で土曜市「大阪なす」のPR販売！

府市場では、4月26日(土)に、

グランフロント大阪のパナソニックセンター大阪が開催する「土曜市」において、JA大阪南・特産の「大阪なす」や、大阪なすを使ったジャムやみそ和え、梅酢漬けの即売会を実施した。

今回の土曜市では、「なすを使ったレシピ」が大阪成蹊短期大学の協力により作成され、レシピの配布や試食を通じて、なすの販売促進に役立てられた。

当日は、な

す生産者やJA職員らが大阪なすの特徴である「ボリユーム感」や「柔らかさ」をPRしながら販売し、準



備した800本の大阪なすは早々に完売になるなど、大変好評であった。当日参加したなす生産者で、JA大阪南なす部会長でもある西田和央さんは「多くのお客様さんにアピールできてよかった。もともと大阪なすの知名度を高めるためにも生産者自身が販売促進のイベントに関わってほしい。」と今回のPR販売に満足しておられた。

府市場活性化

事業の状況を報告

府中央卸売市場及び管理センター(株)を中心に取り組んでいる市場活性化事業の4月と5月の状況が、木場府次長から報告された。その主な内容は次のとおり。()内は協力卸事業者。

〈パナソニックセンター大阪で土曜市の開催〉4/19 徳島県「にんじん」(北果) 4/26 大阪府「大阪なす」(大果)をPR販売。

〈市場まつりの実施〉4/19・20 日他(北果) 5/24・25 日他(北果) 5/28・31 大阪産(大果) 5/28・31 松坂屋高槻店 鮮魚(うおいち)

〈大阪成蹊学園との連携〉レシピ提供 4/19 徳島県「にんじん」(北果) 4/26 大阪府「大阪なす」(大果) 5/8 大分県「ピーマン」と日本ハム(大果) 5/28 松坂屋高槻店「ケンイカ」「かつお」「ホタテ」(うおいち)

〈食育活動の実施〉4/22 福島県が生産地の課題を講演(大阪成蹊短期大学) ↓6月学生が売場作りを提案(大果)

〈名神高速道路吹田サービスエリアでの大阪物産展への協力〉5/10・11 大阪産キュウリ・トマト・イチゴ等を販売 ↓5/11 には「せりちゃん」登場

〈ブランド力・競争力の強化〉青果活性化事業推進会議の開催(月1回実施)

〈ブランド力・競争力の強化〉青果活性化事業推進会議の開催(月1回実施)

管理センターからの報告(要旨)

宮前統括から次の項目について報告があった。
〔活性化事業〕

○仲卸棟2階トイレ改修(給湯室を含む)・管理センター施工の6か所
○水産Aブロック西・水産Bブロック西・青果Cブロック西は7月30日までに完成、水産Aブロック東・水産Bブロック東・青果Cブロック東は8月1日から10月31日。府施工分の4か所
○青果Aブロック西・青果Bブロック西は8月初旬から9月下旬、青果Aブロック東・青果Bブロック東は11月中旬から1月中旬。
○青果折板屋根工事・柱、基礎

専門部会を開催

府市場協会の安全部会・食品衛生部会・福利厚生部会では、平成25年度事業報告、平成26年度事業計画、その他を審議し、承認したが、その主な内容は次のとおり。

◇安全部会(東野・部会長)

5月16日に協会会議室で開催。年4回場内大掃除を実施することとし、第一回目は6月13日(金)に決定した。フォークリフトの講習会について、25名以上の受講希望がある場合、場内で実施するとの案内があった。管理センターから「場内事故等発生

等の強度計算の結果、各所で補強工事が必要となった。

〔修繕事業〕

○ごみ置場ネット修繕工事(青果A B D、水産B、5月18日完成)・・・ネットを閉じることを徹底したい。(告知・警告文書を各ゴミ置場に掲示)守れないときは休場日にゴミ置場を閉じることにも考えたい。
○水産卸棟北側駐車場区画線修繕工事(幅2.2m↓2.5m)6月休場日に実施するので、個別に車の移動を協力いただきたい。
○卸棟階段手摺り塗装工事(5月下旬施工)
○水産立体駐車場Aブロック改修工事(府施工)9月上旬から10月下旬

〔委託業務〕

○エレベーター設備改修工事(府施工)水産棟A2・青果棟A2は6月3日まで。水産棟A4・青果棟A3は6月6日から7月1日
○卸売場排気ダクトの清掃を開始
○吹田SA大阪物産展で活動。5月11日実施分が好評で、6月15日も実施。○ダイエー古川橋店の5月25日の市場まつりにも登場。

〔木製廃棄パレットの投棄抑制〕

前年度比で4250枚増加。前年4月比で1020枚増加しており、引き続き投棄抑制のため監視を強化していきたい。

状況(下図)の説明があり、「フォークリフトとターレットの衝突事故が多い、特にフォークリフトがバックで運転されるとき危険」との注意喚起があった。次に、場内交通安全の確保について、部会長から正門付近のスロープ上り口での荷捌きにより危険な状態になっているとの指摘があり、また委員から水産外周・対面通行南側道路での不法駐車



により、買出し人駐車場から外周道路に出るとき、左右の見通しが悪く、出会いがしらの事故につながりかねない状況が指摘された。早急にポストコーンの設置などの対策を話し合うこととされた。
管理センターから、タバコのポイ捨てが多い、タバコのこげ後が数十箇所あるなどの注意喚起があった。廃棄パレットについても、近郷売場の歩道に積み上げられているので処分いただきたいとの要請があった。廃棄パレットは4月も前年比1000枚の増加であるとの指摘があった。

場内事故等発生状況

区分	平成24年度		平成25年度	
	人身	物損	人身	物損
事故	人身	14	7	7
	物損	67	76	76
	その他	0	1	1
小計		81	84	84
事件	火災	3	2	2
	暴力	1	0	0
	その他	5	16	16
	小計	9	18	18
盗難	商品	9	0	0
	金銭	0	0	0
	車両	1	1	1
	その他	5	0	0
	小計	15	1	1
救護者	急病	8	11	11
	負傷	2	3	3
	小計	10	14	14
合計		115	117	117

〈事故のうち、交通事故発生件数〉

区分	平成24年度		平成25年度	
	人身	物損	人身	物損
人身	14	7	7	7
物損	物損	67	76	76
	施設	2	14	14
その他		65	62	62
合計		81	83	83

◇食品衛生部会(小増・部会長)

5月19日協会会議室で開催。食品衛生講習会の8月ごろ開催などが決定され、禁煙対策の講習会の参加について案内があった。

◇福利厚生部会(三木・部会長)

5月20日協会会議室で開催。今年度はソフトボール大会、ボウリング大会、文化祭に加えて、ゴルフ大会の実施が決まった。ソフトボール大会は9月から10月、ゴルフ大会は9月10日、文化祭は10月、ボウリング大会は3月の開催予定となっている。

また、夏を迎え食中毒の時期になるので注意して欲しいと挨拶され、山口・同所長代理から「夏期における食中毒等の予防」方法として、①食品の温度管理の徹底②商品に菌・ウイルスをつけないための手洗いの徹底③従事者の健康管理④5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)の徹底を行うよう注意喚起された。



事務局からゴキブリ・ねずみの一斉駆除について駆除剤の申し込み依頼があった。

また、木田・食品衛生検査所長から、夏を迎え食中毒の時期になるので注意して欲しいと挨拶され、山口・同所長代理から「夏期における食中毒等の予防」方法として、①食品の温度管理の徹底②商品に菌・ウイルスをつけないための手洗いの徹底③従事者の健康管理④5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)の徹底を行うよう注意喚起された。
事務局長からゴキブリ・ねずみの一斉駆除について駆除剤の申し込み依頼があった。



衛 検
だより

貝類の毒化について

食品衛生検査所

二枚貝（ホタテガイ、アサリ、アカガイ、トリガイ、ムール貝など）は、有毒成分を含むようになることがあります。二枚貝が毒を持っている訳ではありません。毒化するのは、水温や時期により、特定の毒素をもった有害プランクトンが海水中に発生し、それを二枚貝が餌として食べることで体内に蓄積するためです。したがって、有害プランクトンが発生しなくなれば、二枚貝の体内の毒は排出され無毒になります。蓄積する毒には、麻痺性貝毒と下痢性貝毒があります。

二枚貝の毒化は世界中で見られる現象で、太平洋、大西洋、北海等の沿岸で古くから報告されているようです。日本国内でも1960年頃〜80年頃にかけて、麻痺性貝毒により多数の食中毒患者が発生する事件が数回あり、死亡例も報告されています。その後、各方面での研究と対策が進められました。

現在では、国、各自治体、生産者、出荷者、流通業界等が協力して安全確保体制がとられています。年間を通じて有毒プランクトンの発生状況調査、定期的な貝毒検査、検査結果の公表、

検出時は採捕や出荷の迅速な自主規制、的確な情報伝達が行われており、併せて、業界の皆さんのご努力により、市場に流通するこれらの二枚貝による貝毒事故は近年発生していません。

また大阪府内の潮干狩り場においても、貝毒発生時期には、獲った貝は海に戻し、安全性の確認された貝を持ち帰ってもらおうといった対策がとられています。素人の方が岸壁等でムール貝と思われる貝を採取し、貝毒による食中毒が発生したケースもあります。営業目的以外の場合でも、磯や砂浜で貝類を採取する時には、必ず貝毒が発生しているかどうかの情報を確認するとともに、種類のわからない貝を食べないようにしてください。

みんなで考えよう・たばこ講習会を開催

府中央卸売市場と、管理センター(株)、市場協会では、茨木保健所の協力を得て、「タバコの害や禁煙・分煙の方法などを具体的に考えて、健康で安全・安心な職場づくり」に役立つ「活動に取り組みしている。その一環として、5月

21日午前11時から管理棟7階大会議室で、講演会と呼気中の一酸化炭素の測定会を開催した。講習会には、幹部職員をはじめ従業員の皆さんなど30名が参加した。

まず、講習会の趣旨や一般のアンケート調査結果を、府市場の服部課長が説明した後、いしが城谷クリニック副院長の城谷敬子先生が『タバコと健康』禁煙治療の実際』をテーマに講演された。(講演要旨は次号で紹介予定)

次に、茨木保健所の保健婦さんらにより、タバコの煙に含まれている有害物質の一つである

一酸化炭素(CO)が呼気中どのくらい含まれているかの測定が希望者に行われた。COは、動脈硬化の原因になり、心筋梗塞や脳梗塞を引き起こしたり、体への酸素の取り込みが不足し、スタミナや作業効率を低下させるが、喫煙者は高い測定数値で、非常に驚かされていた。



こだわり市開催

加工食品卸売場

府中央卸売市場付設加工食品卸売場において、台所から日本を元気に合言葉に、平成23年10月から、毎月最終土曜日(12月を除く)に「こだわり市(感謝セール)」を開催しており、4月26日に開催された。

当日は、各店舗における廉価販売のほかに、マグロ



解体即売会や、野菜・お茶・お餅の詰め放題販売、お買得(均一)コーナー、こだわり賞品が当たる抽選会といったイベントや、子供向けにはアメのつかみどりや、スーパードールすくいなどがあり、多くの家族連れで賑わった。

卸売業者取扱高 (平成26年4月) 大阪府中央卸売市場

卸売業者	種類	数量(ト)	前年比%	金額(千円)	
				金額	前年比%
青果	野菜	13,115	98.6	2,440,690	106.0
	果実	4,275	100.4	1,437,895	105.9
	小計	17,390	99.0	3,878,585	105.9
水産物	生鮮水産物	2,143	104.1	1,633,789	107.8
	冷凍水産物	440	80.9	405,864	93.1
	加工水産物	1,154	88.6	999,857	100.9
	冷凍食品	315	107.9	155,541	99.9
	小計	4,053	96.5	3,195,051	103.1
卸売業者計		21,442	98.5	7,073,636	104.6

開場日数(4月):平成26年・25年 23日

新着図書案内

- ※築地魚河岸三代目⑥ ④ 九和かずと著 小学館
- ※村上海賊の娘(上・下) 和田 竜著 新潮社
- ※昨夜のカレー明日のパン 木皿 泉著 河出書房新社
- ※獏の檻 道尾 秀介著 新潮社

お手持ち本の寄贈も受付けております

第1回場内一斉大掃除 6月13日(金)実施